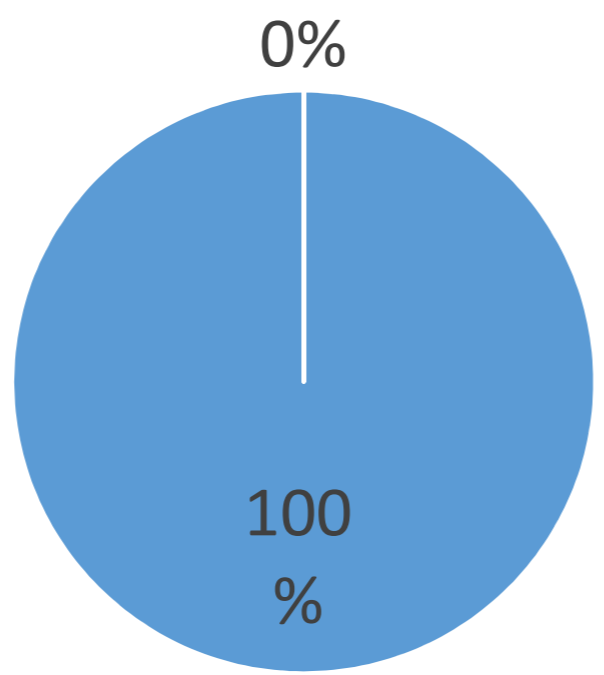


災害医療対策本部運営訓練（令和6年11月24日）アンケート（主な意見）

資料 3

1 実際に訓練に参加してみて良かった点、課題と感じた点、わかりにくかった点などをご記入ください。	2 訓練やその準備を通じて、災害医療に関する理解が深まったか。	3 次回の訓練ではどのようなことに取り組みたいですか。	4 自由記載（災害医療対策全般について御意見・御要望等）
<p>・参集医師の把握が難しい。連絡手段が限られる中での対応をどうするかが課題。（参集者への連絡手段や移動手段が課題とする回答多数）</p> <p>・医療支援班等との各病院への医師割り当て調整について、実際に則した議論ができてよかった。</p> <p>・救護所に参集する人をより詳細に（条件）情報収集する必要があると思う。近い救護所というだけでなく、ブロックを作り、隣のブロックまで考えることや隣のブロックに行ってもらうこともあることを説明が必要。また、各会員との連絡のとり方の確認も併せて必要。</p> <p>・各班での確認した事項と、本部が確認してほしい内容の詳細さの違いがあるため、この違いを埋める必要がある。予めどこまで確認すべきかフォーマット等を作成しておくこと効果的である。</p> <p>・確認、報告事項や職員参集状況など、事前に決まっている内容については表を作るなど準備しておくのと良いと思った。</p> <p>・班内でも全体像を把握することが難しく、知らない間に自分が担当していたことが進んでいることもあったので、情報の共有や情報の共有や記録をタイムレスに行うことが大切だと感じた（わかりやすく！簡潔に！）</p> <p>・板倉病院での病院前救護所設置訓練と同時に開催し、限られた人員で緊張感を持って終始訓練に臨むことができた。</p> <p>・シナリオがない方がリアリティが出て真剣に取り組めました。</p> <p>・課題として、他班から状況の結果報告を受けた際、担当者不在の場合、どのような依頼をしたのか分からず、一から依頼内容含めて確認したため、案件を個人でもたず、常にホワイトボード等で情報共有する重要性を知った。</p> <p>・同時並行でマルチタスクに対応しなければならないのは本番さながらで良かった。</p>	 <p>■ 以前よりも理解できた（40人）</p> <p>■ あまり理解できなかった（0人）</p> <p>■ 無回答（0人）</p>	<p>・情報収集や情報伝達に関する訓練（多数）</p> <p>・今回同様シミュレーション形式での訓練（多数）</p> <p>・通常の連絡手段が使えない時の情報収集、対応などの訓練。</p> <p>・病院の少ない地域、市境での他市への連絡方法の確立。</p> <p>・DMATや自衛隊との共同訓練。</p> <p>・順次、発災経過（日）の訓練を行いたい。各師会との連携事項も何か訓練の中に入れていただきたい。</p> <p>・本部会議での実際の決定プロセスを経験できると良いと思います。</p> <p>・各班との調整、班同士での調整がなかなか整理しづらかったため、あらかじめ分担できる範囲と調整が必要な範囲を整理したうえで、臨みたい。全てブラインドでもよいかもしれない。（想定時間よりも早く動いたりとかもあったので）</p> <p>・事前準備から参加する。（物資の保管場所、保管量を知っておく必要あり）病院前参集職員を除き、実際に参集する職員で訓練をする。</p>	<p>・この形式の訓練は初めての参加で、とても有意義な学習、今後の課題設定になりました。</p> <p>・訓練を行うことで薬剤師手配の移動方法・時間等の問題点が出てきて良かった。</p> <p>・本部で報告ではなく検討する事案については、大規模事案、各班の連携が必要な事案、どの班が主に対応するかが不明な事案等、本部員が一同にそろった場でないと決めにくい事案に絞った方がよいと思いました（定時報告のための本部会議を除く）。</p> <p>・医療支援班に消防局救急隊が加わることを考えてほしい。</p> <p>・記録の書き方、情報共有の方法、優先順位の決め方など項目別に研修やマニュアルがあると判断しやすいと感じました。</p> <p>・重症者の転院について、板倉からの連絡を受けてから医療センターへ依頼をするまで、約45分間かかっていたので、情報の流れ方について検討等必要であると感じました。</p>